

ワクチンについて

「ワクチン」に関するよくある質問と回答

	質問	回答
1	ワクチンにはどんな効果があるのか。	感染症に対する免疫をつけたり、免疫を強めるために接種されています。個人の発症・重症化予防や、社会全体での感染症の流行を防ぐことが期待されています。新型コロナワクチンについても、重症化や、発熱やせきなどの症状が出ること（発症）を防ぐことが期待されています。
2	各ワクチンの効果はどのようなものか。	ファイザー社製ワクチンは、3週間の間隔で2回接種し、2回目の接種から7日目以降におけるワクチンの有効性（発症予防効果）は約95%と発表されています。ファイザー社製ワクチンの臨床試験は継続中であり、今後さらに情報を得られる予定です。その他のワクチンについては、情報が分かり次第お伝えします。
3	ワクチンを接種したら、新型コロナウイルス感染症に感染しないのか。	ワクチンを接種したからといって感染しないということではありません。予防接種は、病気に対する免疫をつけたり、かかった時の重症化を予防、社会全体で流行するのを防ぐことが期待されています。そのため、マスクの着用や消毒、3密を避けるなどといった対策を続ける必要があります。
4	どこの会社のワクチンが一番効果があるか。	ワクチンの薬事承認に当たっては、有効性や安全性を慎重に審査します。今後、承認を得たワクチンは、いずれも一定以上の効果があることになります。ワクチンの有効性などについての情報は、今後も随時お知らせしていきます。
5	ワクチンに副反応はあるのか。	ワクチン接種によって、副反応が起きることがあります。気になる症状、いつもと違う体調の変化が認められた場合には、速やかに医師などにご連絡ください。万が一、ワクチンの接種によって健康被害が生じた場合には、国による健康被害救済制度がございます。申請が必要になった場合は、自治体にご相談ください。
6	各ワクチンの副反応にはどんなものがあるか。	ファイザー社製ワクチンについては、注射した部分の痛み、頭痛、関節や筋肉の痛み、疲労、寒気、発熱等があります。また、まれに起こる重大な副反応として、ショックやアナフィラキシーがあります。なお、本ワクチンは、新しい種類のワクチンのため、これまでに明らかになっていない症状が出る場合があります。接種後に気になる症状を認めた場合は、接種医あるいはかかりつけ医に相談しましょう。他のワクチンについては、情報が分かり次第お伝えします。
7	効果はどの程度続くのか。	厚生労働省によれば、ファイザー社、モデルナ社、アストラゼネカ社は、開発中のワクチンを投与した人の方が、投与していない人よりも、新型コロナウイルス感染症に発症した人が少ないとの結果又は中間結果が得られたと発表しています。臨床試験や接種が始まってから時間があまり経過していないことから、効果の持続期間については明らかになっていません。今後の情報が明らかになるのを待つ必要があります。
8	変異種にも対応しているのか。	厚生労働省によれば、一般論として、ウイルスは絶えず変異をおこしていくもので、小さな変異でワクチンの効果がなくなるというわけではありません。ファイザー社のワクチンでは、変異株の新型コロナウイルスにも作用する抗体が見つかった、といった実験結果も発表されています。
9	接種費用はかかるか。	無料です。
10	国民全員分のワクチンを確保できるのか。	国は、全国民分のワクチン数量の確保を目指しています。
11	ワクチンは選べるのか。	どの会社のワクチンがいつ、どの程度供給されるのか、現時点で不明ですので、現時点ではワクチンを選択することは考えていません。
12	日本製のワクチンはないのか。	日本製のワクチンも開発中ですが、今のところ海外製のワクチンが主流となっています。
13	ワクチンの安全性は確認されているのか。	現在、開発中の新型コロナウイルス感染症のワクチンの副反応については国内外の臨床試験等でのようなものが起こりうるか確認されているところです。
14	ワクチンは冷凍保存が必要と聞いているが、流通は大丈夫か。	流通や医療の現場が対応できるよう、準備を進めていきます。
15	集団免疫とは何か。	感染症は、病原体（ウイルスや細菌など）が、その病原体に対する免疫を持たない人に感染することで、流行します。ある病原体に対して、人口の一定割合以上の人が免疫を持つと、感染者が出て、他の人に感染しにくくなることで、感染症が流行しなくなり、間接的に免疫を持たない人も感染から守られます。この状態を集団免疫と言い、社会全体が感染症から守られることになります。なお、感染症の種類によって、集団免疫を得るために必要な免疫を持つ人の割合は異なります。また、ワクチンによっては、接種で重症化を防ぐ効果があっても感染を防ぐ効果が乏しく、どれだけ多くの人に接種しても集団免疫の効果が得られないこともあります。新型コロナワクチンによって、集団免疫の効果があるかどうかは分かっておらず、分かるまでには、時間を要すると考えられています。
16	ファイザー社製ワクチンの成分に対し、重度の過敏症の既往歴のある者とは具体的にどのような方を指すのか。	ファイザー社製ワクチンび重度の過敏症の既往のある方、または1回目接種で重度の過敏症を呈した方です。重度の過敏症とは、例えば(1)アナフィラキシー(2)全身性の皮膚・粘膜症状、喘鳴、呼吸困難、頻脈、血統低下等のアナフィラキシーを疑わせる複数の症状 です。
17	ウイルスのタンパク質を作る基になる遺伝子情報を体に投与すると、将来の身体への異変は心配あるか。	メッセージRNA (mRNA)は、数分から数日といった時間の経過とともに分解されていきます。また、mRNAは、人の遺伝子(DNA)に取り込まれるものではありません。体の中で、DNAからmRNAが作られる仕組みがありますが、情報の流れは一方通行で、逆にmRNAからはDNAは作られません。こうしたことから、mRNAを注射することで、その情報が長期に残ったり、精子や卵子の遺伝情報に取り込まれることはないと考えられています。
18	アレルギー反応が心配されている、ポリエチレングリコール(PEG)やポリソルベートが含まれる医薬品にはどのようなものがあるか。	日本で承認されているポリエチレングリコールを含むワクチンは、今回承認されたファイザー社製の新型コロナワクチンが初めてとなりますが、ポリエチレングリコールとの交差反応性が懸念されているポリソルベートを含んでいる既に承認されたワクチンは、インフルエンザワクチンやポリオワクチン、ロタウイルスワクチン等、複数存在します。また、前述の通り、ポリエチレングリコールは大腸内視鏡検査時に下剤として使用する医薬品をはじめ、様々な医薬品に添加剤として含まれており、ポリソルベートも同様に複数の医薬品に含まれています。なお、ポリエチレングリコールは「マクロゴール」という名称で呼ばれることもあります。